５　多様性を認め合う平和な社会の実現に向けた取組の推進

性の多様性が尊重される社会づくりを進めていきます

予算額：９２７千円

目的・概要

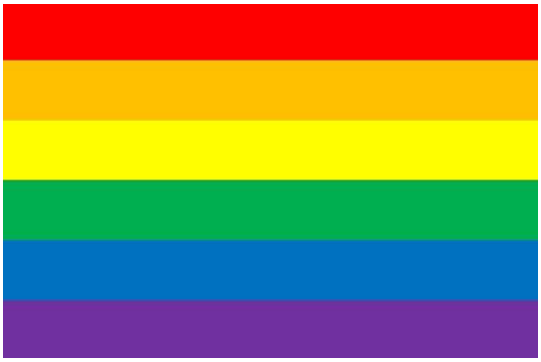
性的指向及び性自認に基づく差別のない、性の多様性が尊重される社会づくりに向けて、理解促進を図るためのパンフレットの作成等を行います。

内容

区では、平成１４年に、他区に先駆けて「目黒区男女が平等に共同参画する社会づくり条例」を制定し、性別にかかわらず、全ての個人が尊重され、個性と能力を発揮できる社会づくりを目指しています。現在、性的指向及び性自認に基づく差別的取扱いの解消など、性の多様性が尊重される社会づくりに向けて、条例の改正に取組んでいます。

令和２年度は、性の多様性について広く理解促進を図るために、パンフレットの作成や、講座の開催を行います。

また、性の多様性についての理解者であることを示すため、区職員や区民が活用することができるよう、性の多様性の象徴ともいわれる「レインボーフラッグ」のカラーを用いたバッジの作成を行います。



＜レインボーフラッグ＞

担当所管

■　総務部　人権政策課　男女平等・多様性推進係

直通電話　03-5722-9214　内線番号（ 2182 ）

５　多様性を認め合う平和な社会の実現に向けた取組の推進

多文化共生推進事業を実施します

予算額：５，００６千円

目的・概要

多言語による行政情報の提供や行政窓口の対応を充実させるため、タブレット端末による通訳サービス及び翻訳の多言語対応を行います。また、「やさしい日本語」の職員向け研修を実施します。

内容

１　タブレット端末による多言語通訳（予算額：2,860千円）

通訳者が画面を介して１０ヶ国語以上の対面通訳をリアルタイムに行うテレビ電話通訳の機能が搭載されたタブレット端末を窓口等に設置し、外国人住民と職員の円滑なコミュニケーションを実現します。

２　翻訳の多言語対応（予算額：2,046千円）

行政文書の翻訳を積極的に行い、更なる多言語による行政情報の提供を推進していきます。

３　「やさしい日本語」職員研修の実施（予算額：100千円）

国が令和元年６月に策定した「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策の充実について」において、多言語対応の一手法として盛り込まれ、近年様々な自治体で活用されている「やさしい日本語」の職員向けの研修を実施し、外国人住民に対しての窓口サービスの向上を目指します。

担当所管

■　文化・スポーツ部　文化・交流課　交流推進係

直通電話　03-5722-9291　内線番号（ 2167 ）

５　多様性を認め合う平和な社会の実現に向けた取組の推進

東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた大会関連事業を実施します

予算額：１４４，６６５千円

目的・概要

今年いよいよ開催年となった東京２０２０ オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京２０２０ 大会」と言う。）の成功に向けて、多くの区民と感動や興奮を共に分かち合うとともに、大会レガシーとして、スポーツや文化の発展に繋げ、記憶に残る大会とするため各種関連事業を実施します。

内容

１　大会関連事業（予算額：137,759 千円）

担当所管：オリンピック・パラリンピック推進課

（１）聖火リレー事業

令和２年７月２３日（木・祝）に実施される聖火リレーは、目黒区からスタートします。

多くの区民と感動を共有できるよう区をあげて聖火リレーを盛り上げます。目黒区総合庁舎で実施する出発式においては、区内団体等による催し物でスタートを盛り上げ、フィニッシュ地点であるめぐろ区民キャンパスにおいても聖火ランナーを歓迎するイベントを実施します。

＜聖火トーチ＞

（２）コミュニティライブサイト及びパブリックビューイングの実施

東京２０２０大会を大型スクリーン等を利用し、身近な場所で多くの方が観戦等を楽しみ、感動や興奮を共有することができるよう、コミュニティライブサイト及びパブリックビューイングを実施します。

（３）その他事業

① 東京２０２０大会の機運醸成事業として、これまでに４回開催し、また、その一部が聖火リレーのルートとなった目黒シティラン～健康マラソン大会～について、大会レガシーとして引き続き実施していきます。

②「めぐろスポーツニュース」等を活用し、オリンピック・パラリンピックに関する情報や各種スポーツ関連事業を積極的に情報発信します。

＜目黒シティラン＞

２　区民交流ボッチャ大会の開催（予算額：906 千円）担当所管：スポーツ振興課

ボッチャは、リオデジャネイロ２０１６パラリンピック競技大会のチーム戦において、日本代表が銀メダルを獲得するなど、知名度が向上してきています。

区では、『めぐろスポーツまつり』でボッチャの体験イベントを実施するなど、障害の有無を越え、多くの区民の皆様に、ボッチャの魅力や楽しさを体験していただく取組を進めてきました。

令和２年度は東京２０２０大会が開催され、パラスポーツにもこれまで以上に注目が集まっています。そこで、障害のある方はもとより、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しむことができるパラスポーツである「ボッチャ」を競技種目とする区民交流ボッチャ大会を開催し、東京２０２０大会の機運醸成を図ります。

＜ボッチャ競技の様子＞

３　東京２０２０大会文化プログラムの実施（予算額：6,000 千円）

担当所管：文化・交流課

オリンピック・パラリンピック競技大会はスポーツの祭典だけではなく、文化の祭典でもあります。東京２０２０大会の開会式前日に予定されている聖火リレーの実施にあわせ、日本の伝統文化の発信や大会を盛り上げるための文化的プログラムを実施します。

担当所管

■　文化・スポーツ部　オリンピック・パラリンピック推進課
直通電話 03-5722-9361　内線番号（ 3616 ）

■　文化・スポーツ部　スポーツ振興課　スポーツ事業係
直通電話　03-5722-9695　内線番号（ 3614 ）

■　文化・スポーツ部　文化・交流課　文化・観光係
直通電話　03-5722-9682　内線番号（ 2165 ）

５　多様性を認め合う平和な社会の実現に向けた取組の推進

東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会観戦事業を行います

予算額：２，３８０千円

目的・概要

保育園児（５歳児）に東京２０２０パラリンピックの観戦機会を提供します。また、区内の小中学生が東京２０２０オリンピック・パラリンピックを観戦するため、青少年育成者に同様の体験機会を提供します。

内容

東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会では、世界各国の選手たちが目標に向かって努力する姿に直接触れることができます。保育園児（５歳児）に観戦機会を提供することで、オリンピック・パラリンピックを知るきっかけとなり、その貴重な経験が今後の健やかな成長へと繋がります。また、普段ではできない体験を子どもたちと共有し、その豊かな経験を今後の青少年健全育成活動に生かすことができるよう、青少年育成者に観戦の機会を提供します。

１　保育園児　担当所管：保育課

・東京パラリンピック競技大会チケット　（予算額：1,622 千円）

・東京パラリンピック競技大会に係る交通費（公立保育園分）　（予算額：113 千円）

２　青少年育成者　所管所管：生涯学習課

・東京オリンピック競技大会チケット　（予算額：352 千円）

・東京パラリンピック競技大会チケット　（予算額：293 千円）

担当所管

■　子育て支援部　保育課　保育係

直通電話　03-5722-9865　内線番号（ 2783 ）

■　教育委員会事務局　生涯学習課　青少年係

直通電話　03-5722-9309　内線番号（ 3531 ）

５　多様性を認め合う平和な社会の実現に向けた取組の推進

オリンピック・パラリンピック教育を実施します

予算額：１３，４５５千円

目的・概要

東京都からの委託を受け、全区立学校（小中学校、幼稚園、こども園）でオリンピック・パラリンピック教育推進事業を実施します。また、オリンピック・パラリンピック教育の充実を図るため、競技観戦の児童生徒旅費の支給や、目黒区立中学校連合体育大会において、選手生徒の活躍する姿や各校の応援などの大会様子を競技場に設置されている大型映像装置で放映します。

内容

１　オリンピック・パラリンピック競技観戦の児童生徒旅費（予算：6,845 千円）

全ての区立学校（幼稚園、こども園を含む）に、東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会を観戦できる機会が提供されることから、競技会場までの交通費を支給します。

２　オリンピック・パラリンピック教育の実施（予算：5,900 千円）

東京都教育委員会では、平成２８年１月に「東京都オリンピック・パラリンピック教育実施方針」を定め、平成２８年度から令和２年度までの５年間、すべての公立学校（幼稚園を含む）でオリンピック・パラリンピック教育を実施することとしました。

区では東京都からの委託を受け、「オリンピック・パラリンピック推進事業」を実施していますが、令和２年度も引き続きオリンピック・パラリンピック教育を実施します。

３　オリンピック・パラリンピック教育の充実（予算：710 千円）

オリンピック・パラリンピック教育の充実を図るため、７４回を迎える目黒区立中学校連合体育大会を「観る」、「する」、「支える」の重要な取組に位置付け、選手生徒の活躍する姿や各校の応援などの様子を競技場に設置されている大型映像装置で放映します。

担当所管

■　教育委員会事務局　教育指導課　指導事務係

直通電話　03-5722-9312　内線番号（ 3585 ）

５　多様性を認め合う平和な社会の実現に向けた取組の推進

友好都市や区内大使館との交流事業を実施します

予算額：３，８００千円

目的・概要

友好都市である気仙沼市と金沢市、及び区内大使館との交流事業を実施し、住民同士の交流の促進や、国際交流の推進を図ります。

内容

１　東日本復興支援コンサートの実施（予算額：1,800 千円）

東日本大震災発生から１０年の節目を迎えるにあたり、震災を風化させることなく、引き続き友好都市の復興を支援していくため、気仙沼市市民団体等による「東日本大震災復興支援コンサート」をめぐろパーシモンホール大ホールにて開催します。

２　金沢市との文化交流事業（予算額：1,000 千円）

平成３０年度は、目黒区と金沢市の青少年によるジャズ交流事業を実施しました。令和元年度は、目黒区華道茶道連盟が金沢市で開催された茶会に参加し、市民交流を行いました。

令和２年度も引き続き音楽や茶道などの伝統文化を通じて市民交流事業を実施します。

３　区内大使館との文化交流（予算額：1,000 千円）

ポーランド共和国大使館が区内にあり、令和元年度は、区・東京音楽大学・ポーランド共和国大使館の三者で連携し、「日本・ポーランド国交樹立１００周年記念交流コンサート」を実施しました。

令和２年度はポーランド生まれの作曲家「ショパン」をテーマとしたコンサートを東京音楽大学内のホールで実施します。

＜平成 29 年の東日本復興支援コンサート＞

担当所管

■　文化・スポーツ部　文化・交流課　交流推進係

直通電話　03-5722-9291　内線番号（ 2167 ）

白紙のページです。

令和２年度目黒区当初予算案プレス発表資料

Meguro city

■　問い合わせ先

目黒区役所　　電話　０３－３７１５－１１１１（代表）

企画経営部財政課　　０３－５７２２－９１３７（直通）

企画経営部広報課　　０３－５７２２－９６２１（直通）